

Global COE Seminar No. 110

Kyushu University Global COE Program

“Science for Future Molecular Systems”



先導物質化学研究所ナノバイオセミナー

モチーフ・プログラミングの医学・工学応用

芝 清隆先生

(財団法人 癌研究会 癌研究所蛋白創製研究部・部長、
九州大学先導物質化学研究所・非常勤講師)

タンパク質の部分構造に相当するオリゴペプチドが、特定の機能を発揮することが知られている。いわゆる「モチーフ」ペプチドである。また、進化分子工学的に取得された、特定の標的の分子に特異的に結合するペプチド、「ペプチド・アプタマー」も特異的結合活性をもった結合モチーフとして利用することができる。これら天然・人工モチーフを、目的に合わせて組み合わせることにより、機能化人工分子を作製するのが「モチーフ・プログラミング」の基本概念である。「モチーフ・プログラミング」の医学、工学分野での展開研究を紹介する。

会 期:平成22年2月16日(火)16:00～

会 場:伊都キャンパス CE40 2F 多目的セミナー室

主 催:先導物質化学研究所

連絡先:先導物質化学研究所 丸山 厚

(内線2522(伊都)、maruyama@ms.ifoc.kyushu-u.ac.jp)

Admission Free